12 のヒント ー
ホリデーシーズンの空の旅

1 日目
液体・ジェル・エアロゾル類は預け入れ荷物の方にお入れください。短距離フライトの場合は、3-1-1 ルールに従って機内持ち込み手荷物にお入れください： 3 オンス (100 ml) 以下の容器を、1 クォート (1 L) サイズのジップ密閉式透明ビニール袋に入れ、この透明ビニール袋は 1 人につき 1 つまでです。

2 日目
機内持ち込み手荷物に入れる液体・ジェル・エアロゾル類の TSA 3-1-1 ルールには、適用例外がいくつかあります。小さなお子様連れの場合は、乳幼児用ミルク、母乳、ベビーフードを持ち込むことが認められます。液体・ジェル状の医薬品や、糖尿病等の医療上の理由により必要な液体 (水、ジュース、液体栄養剤などを含む) は、3 オンス (100 ml) を超えていても持ち込みが許可されます。これらの品目は別に分けておき、セキュリティ担当官に提示して検査を受けてください。

3 日目
空港には余裕をもってお越しください。航空会社によって、またご搭乗の日によって、待ち時間は大きく異なります。フライトの何時間前に空港に到着したらよいか、ご利用の航空会社にお尋ねください。

4 日目
靴はお脱ぎいただき、X 線検査を通す必要があります。脱ぎやすい靴にすると、検査手続きがスピーディになります。

5 日目
預け入れ荷物には壊れやすいものや貴重品は入れないでください。搭乗時にお持ち込みいただくか、搭乗前にあらかじめ別送してください。

6 日目
銃器をお持ちの場合は、弾を抜き、鍵のかかるハードケースに入れ、航空会社に申請する必要があります。手続の詳細は航空会社にご確認ください。

7 日目
大切な記録を失わないようにするため、現像前のフィルムは必ず、機内持ち込み手荷物の方にお入れください。預け入れ荷物のスクリーニング装置では、フィルムを傷めることがあります。

8 日目
預け入れ荷物に鍵をかける場合は、検査の必要がある場合に備え、TSA 認可のロックを使用してください。

9 日目
プレゼントは目的地に着いてからラッピングしてください。セキュリティ担当官がパッケージを調べたいときは、包装を取り除かなければならないことがあります。これはトラブルのもとになり、他の乗客の検査を遅らせることにもなります。

10 日目
スーツケースやバッグには、詰め込み過ぎないようにしてください。中身が多すぎると閉め直すのが難しくなり、預け入れ荷物の遅れにつながります。

Day Eleven

11 日目
液体以外にも、ジップ式ビニール袋を活用してください。携帯電話や鍵、PDA、身につけている金属製品など、チェックポイントでの検査に役立ちます。これらの物品をビニール袋にまとめて機内持ち込み手荷物に入れ、検査が終わってから取り出すようにすると簡単です。

Day Twelve

12 日目
準備をしてからチェックポイントにお入りください。コートや上着、ジャケット、厚手のセーターなども脱いでトレーに入れ、X 線検査を受ける必要があります。脱ぎやすく、金属部分がない衣服にすると、検査手続きがさらにスピーディになります。